

(2014年12月発行)

日本胃癌学会ニュース

日本胃癌学会 企画・広報委員会発行

第87回日本胃癌学会総会のご案内

第87回日本胃癌学会総会 会長 二宮基樹（広島市立広島市民病院外科）

歴史と伝統ある日本胃癌学会の第87回総会を2015年3月4～6日の3日間、「分化と統合」をテーマにリーガロイヤルホテル広島を中心に開催させていただきます。分化し発展した胃癌診療が、統合され更なる発展を成し遂げる場となることを心より祈念しています。

初日には、ふたつの plenary session を企画致しました。ひとつは胃癌治療ガイドラインのコンセンサスマーケティングであり、もうひとつは JCOG0110 をはじめ臨床的に極めて重要な臨床試験の結果が続々明らかになりますので、その結果を報告していただきます。

本学会では主題とともにポスター発表を重視し、基本的に口演は主題、その関連と、応募の多かったビデオ演題だけに致しました。十分な内容の提示ができて、参加者が繰り返し見ることができるポスターは魅力的な発表形態と思います。そして、ポスター発表の時間帯は基本的に他のセッションは閉じますので、多くの参加者が論議に加わっていただけることを期待しています。優秀演題には、広島県知事賞と広島市長賞を用意しています。

このたびの話題のひとつは、日本胃癌学会のなかで ESD 研究会が再組織され、新たなスタートをきることになったことです。高度に進化した ESD ですが、適応や技術等について外科系医師と論議できるのが大きな魅力です。ESD の更なる発展が期待できます。

特別企画の「日本胃癌学会による臨床試験の品質向上の試み ～研究者主導臨床試験の持続可能な体制整備のために～」はあるべき臨床試験の姿を論議し、「全ゲノム解析・エピゲノム解析から胃癌の治療・診断へ」では加速する基礎からのトランスレーションを論議致します。

広島は来年被曝 70 周年を迎えますので、「放射線被曝と胃癌」をテーマに講演を予定しています。

日本胃癌学会も年を追うごとに国際化の装いを強めています。世界をリードしているからこそ、韓国や中国をはじめとする海外の胃癌治療医に参加していただけるものと思います。International session は昨年と同様に open surgery, laparoscopic surgery, ESD, chemotherapy 等のセッションを用意しています。また、ポスター発表にも

international poster セッションを加え、海外の医師との議論の場を増やしました。広島から世界へ発信できる論議を期待しています。

主題セッションでは、いま胃癌の世界で最もホットな話題である食道胃接合部癌、大動脈周囲リンパ節郭清、conversion therapy などに大きなスポットをあてています。昨年から進化した論議をお願いしたいと思います。

医師だけで行える医療は少なく、チーム医療の時代になってきました。この度の主題には医師のみならず、看護師、薬剤師、栄養士等々が応募・参加できるセッションを用意しました。積極的な参加をお待ちしています。

また、胃癌の歴史と若手の教育にも配慮を致しました。我が国の胃癌治療の幕開けから現代に至るまで、エポックメイキングなテーマを取り上げて講師に語っていただきます。過去を振り返り、現在を見つめ直す機会になれば幸いです。そして、若手医師のために胃癌診療の基本となるテーマや基本手術手技についての講義も用意しています。このような基本的な知識が最先端の発表を理解し易くするものと思います。

広島は6本のたおやかな川と豊かな緑に包まれ、穏やかな瀬戸内海に面した魅力的な世界平和都市です。世界遺産も宮島の厳島神社、原爆ドームとふたつあり、3月は牡蠣もお好み焼きもお酒もおいしい季節です。どうぞ広島で日中は胃癌についての学術論議を徹底して行い、夜は広島の味を堪能してください。皆様のご来広を心よりお待ちしております。

第18回市民公開講座のご案内

二宮基樹（広島市立広島市民病院外科）

謹啓

日本胃癌学会会員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日本胃癌学会の第87回総会を2015年3月4～6日の3日間、「分化と統合」をテーマにリーガロイヤルホテル広島を中心に開催させていただきます。それに伴いまして、第18回日本胃癌学会市民公開講座を平成27年3月7日に広島で開催させていただきます。

今回の市民公開講座では、タイトルを「知っておきたい胃癌のお話」として、3つの話題を取り上げました。第1はヘリコバクターピロリと胃癌です。第2は低侵襲手術治療です。そして、第3は化学療法、分子標的治療です。いずれの話題も最近進歩が著しく、知っておいていただきたいと思うものばかりです。内科医、外科医、腫瘍内科医の立場から、市民の皆さんに役立つ内容のお話をご紹介します。

第1部講演では私の司会で、広島市立広島市民病院 内科特任主任部長 水野元夫先生にピロリ菌の疫学から胃癌の予防までお話いただきます。また岡山大学病院 消化

管外科講師 西崎 正彦先生に手術治療、低侵襲手術である腹腔鏡下胃切除術やロボット治療についてお話しいただきます。最後に神戸市立医療センター 中央市民病院 腫瘍内科部長、がんセンター長 辻 晃仁先生には、化学療法、分子標的治療の進化に伴って選択肢の広がった化学療法治療についてお話しいただきます。

第2部Q&A では私の司会で、市民の皆様からのご質問に対して、ご講演の先生からわかりやすく丁寧にお答えいただきます。

胃癌についての予防、内視鏡治療、手術、薬物治療と、多分野にわたる、中身の濃いプログラムになったと確信しております。広く市民の方の参加をお待ちしております。

謹白

《 開催概要 》

日本胃癌学会 第18回市民公開講座

日時：平成27年3月7日（土）14:00～16:30

場所：広島県民文化センター大ホール（広島市中区大手町1丁目5-3）

テーマ：知っておきたい胃がんのお話

講演の部（14:05～）

司会：広島市立広島市民病院 副院長 二宮 基樹

講演1

「今、胃がんは予防から撲滅の時代に：あなたの子孫を胃がんから守ろう！」

広島市立広島市民病院 内科特任主任部長 水野元夫

講演2

「胃がん外科の最前線 — 低侵襲治療の現状と展望 —」

岡山大学病院 消化管外科講師 西崎 正彦

講演3

「胃がんになったらどうすればいいの — 一番いい治療を受けるために」

神戸市立医療センター中央市民病院 腫瘍内科部長、がんセンター長 辻 晃仁

Q&A の部（15:55～16:25）

司会：広島市立広島市民病院 副院長 二宮 基樹

世話人：広島市立広島市民病院 副院長 二宮 基樹

事務担当：広島市立広島市民病院 外科 金澤 卓

第17回市民公開講座のご報告

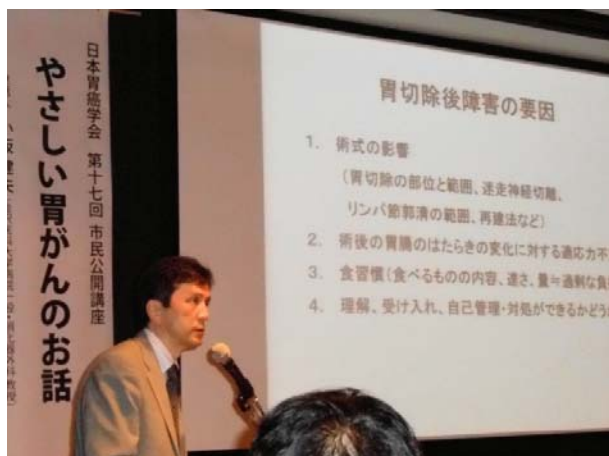
金沢医科大学一般・消化器外科学教授 小坂健夫

平成26年11月1日(土)14:00から、金沢市の北國新聞交流ホールにて『やさしい胃がんのお話』のテーマで開催しました。第1部『講演』では金沢医科大学消化器内科有沢富康教授と一般・消化器外科小坂健夫教授が4人の講師の司会を担当しました。

まず、富山大学第3内科教授杉山敏郎先生が『ピロリ菌検査・除菌により胃がん死は激減できる』を講演されました。日本人は約5千万人がピロリ菌に感染しており、若年時に除菌すると胃癌にはならないが、ある期間を過ぎてからの除菌では胃癌リスクがゼロにはならず、除菌の推進で10年後には胃癌死は10分の1以下になる予測を説明されました。



続いて、東京慈恵会医科大学外科学准教授中田浩二先生が『胃切除後障害の克服に向けてー患者さん、外科医そしてチームができることー』を講演されました。胃切除後障害の概要と手術法を工夫することの有効性、障害を克服するためのチームについて解説されました。



さらに、金沢医科大学病院リハビリテーション科教授影近謙治先生が『がんの治療とリハビリテーション』を講演されました。リハビリテーションの目的が、がん患者の回復力を高め、障害の予防や緩和を目指すことを解説されました。



最後に、金沢医科大学病院栄養部主任佐古ひとみ先生が『知っておきたい術前・術後の栄養管理』を講演されました。胃癌の進行や手術による慢性・急性の栄養障害に対して、免疫賦活栄養剤の効果、また術後の小胃症状や化学療法中の食欲不振等に応じた食事の対応について解説されました。



休憩を挟み、石川県予防医学協会予防医学クリニック院長魚谷知佳先生と富山市民病院外科部長藤村隆先生の司会で第2部『Q&A』が開催されました。当日市民からの多数の質問が紹介され、それらに対し各講師がわかりやすく丁寧に回答されました。



全体を通じ、胃癌の予防、手術、リハビリテーションそして栄養と、多職種・多分野にわたる、中身の濃いプログラムで、50名近くの参加者に大変参考になる内容でした。

登録委員会からのお知らせ

登録委員会委員長 片井 均

2006年全国胃癌登録症例報告書をホームページに掲載しました。是非ご覧ください。
2015年は、通常の登録に加えて残胃癌の登録をお願いする予定です。
引き続き、登録事業にご協力のほどお願いいたします。